


### 【概要】

 <p>設計室内での検証風景</p>	<p>【内容】 開発設計→DR→試作→実機 DR→やり直し 開発機発表まであとわずか→切った張ったの繰り返し こんな経験ありませんか？ バーチャル DR で解決しましょう！ 試作前に 3D 設計データを使ってバーチャル DR を実施</p> <p>【効果】 作業性、デザイン、生産準備の確認が試作前に可能 →やり直しのない開発が可能</p>
---	--

### これまでの試作では

- ・デザイン通りになっていない
  - ・工具が入らない
  - ・配管配線が出来ない
  - ・切屑が堆積しそう
  - ・非常停止ボタンが押せない
  - ・接近性が悪い
  - ・安全性が確保出来ていない などなど
- いろいろな指摘があり開発完了間近では取り繕うのが精一杯・・・こんな経験ありませんか？

### バーチャル DR では

3D 設計データをそのまま使ってバーチャルに表示し試作前に実物大の実機の確認ができます。

(もちろん開発設計者は指摘を受けないように、考慮した設計をしなければなりません・・・万能ではない)

### 主な活用方法

#### 【構想検討段階】

実寸大の CAD データを投影、機械の大きさ、デザインイメージなどラフな構想での実機イメージを確認し、開発ステップに合わせてデータを更新し開発を進めることで、管理ができるようになります。

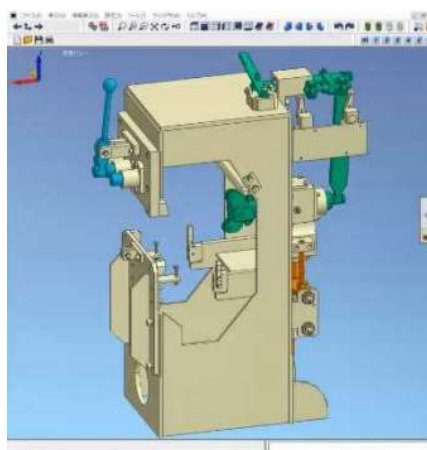
#### 【設計完了でのバーチャル DR(デザインレビュー)】

営業、製造、設計など異なる部門のメンバーが複数人でバーチャル DR が行えます。

実物大でのデザイン、サイズ感、実際の工具を用いた作業性等を確認することが可能です。

バーチャル DR の様子をそのまま録画することもでき、音声議事録よりも間違いのない記録が残ります。

海外など遠隔地からも参加可能な為、一度で質の高い中身の濃い DR が可能です。



会社名 豊ハイテック株式会社

担当者 永田、金森

連絡先 <https://www.yutaka-ht.co.jp/>